

2006年4月22日

ディベート入門

木庭元晴

次のウェブサイトが参考になる。

参考： **JDA** 日本ディベート協会
Japan Debate Association

<http://www.kt.rim.or.jp/~jda/>

関西大学所蔵のディベート（日本語）用ライブラリーは下記の一つにすぎない。
12. VT / ディベート能力開発シリーズ 短期集中講座; 第1, 2巻 VJ-342, -343 ディベートのルールとテクニック [ビジネスビデオ教材] Nos. 1, 2 / (2001) / LL (財) 社会経済生産性本部発行 監修松本道弘, 30~40分/本。いずれも10万円ほど, うーん。

ディベートとは

ディベートの特徴： debate: a formal argument or discussion of a question, for example, at a public meeting or in Parliament or Congress, with two or more opposing speakers, and often ending in a vote.” – Oxford Advance Learner’s Dictionary, 5th ed.

(1)議会等の公的(public)な議論を行う場において、何らかの論点、論題(question)について、(2)対立する複数の発言者によって議論がなされ、(3)多くの場合、議論の採否が議論を聞いていた第三者による投票によって判定される。

論題の種類：

・政府や組織の方針を問ういわば**政策論題** 例：「日本政府は、原子力発電所を廃止すべきである」、「日本政府は、タバコの販売及び消費を禁止すべきである。」）、「タバコは健康に有害だから公共の場所では喫煙を禁止すべきである」、「日本政府は死刑を廃止すべきである」、「夫婦同姓を認めるべきである」、「ゆとり教育が廃止される方向だが賛成だ。」、「英語が小学校の正規科目になる可能性が高いが賛成だ」、「経済発展より環境保護が大事だから__を建設すべきでない」、「__中学校は制服を廃止すべきである」等。

・過去や現在の**事実論題** 例：「邪馬台国は、九州に存在した」、「宇宙は一つか」等。

- ・ 多分に時代や地域さらに社会的階層に左右される**価値論題** 例：「科学は人類を幸せにするか」等。

論題は、複数の第三者に対してなんらかの共通認識を醸成し、とるべき政策や行動についての判断を求めるものが多い。政策論題には多分に時代状況や地域さらに社会的階層に左右される価値観に依存している。

意思決定法： 中立の第三者に判断をゆだねるか、投票等の方法により、できるだけ多くの利害関係者を判断に参加させることでこれを実現しようとする。

理論的な議論： 「誰が」ではなく、「何を」議論したのかを問う。

ディベート（弁論術）を学ぶ意味： アリストテレスによれば、

1. 多面的に検討することにより、事実を見落とししたり、誤解したりしないようにすること。
2. 詭弁を弄する者や、筋の通らない議論に反論し、正しい結論へ導くこと。

教育ディベート

参考：How to Debate? <http://nade.jp/first/howto.html>,
知ナビ教授マニュアル（山本，藤田）

- ① あらかじめ設定された論題(proposition)を用い、②肯定側(affirmative side), 否定側(negative side)の両者の立場に分かれ、③一定のスピーチ時間、順番等の進め方の試合形式(format)に従ってディベートを行うもの。

ディベートの目標

ディベートの試合は、肯定側の選手・否定側の選手と、試合の勝敗を決めるジャッジ（審判）の3者から成り立つ。選手の最大の目的は、議論を通じて「第三者であるジャッジ（審判）を説得する」こと。決して、「対戦相手を言い負かす」ゲームではない。

チーム編成とテーマ設定

チーム編成

履修者 25 名から 6 チームを作る。各チームにディベート経験者を入れる。男女比もできるだけ同じにする。

テーマ（論題）設定

「メリットとデメリットが釣り合っていて、君たちが収集可能な資料に基づいて議論でき、関心の持てるテーマを設定する必要がある」（基礎条件）

各チームはテーマを一つ、決める。上の「」内の基礎条件にかなっていることを検証し、テーマの正確な意味を前もって確認する必要がある。

ペアの決定とテーマの選択

6 チームから 6 テーマが提出されることになる。各チームはそれぞれ関心のある他のテーマを選ぶ。他チームとぶつかった場合は抽選。その結果、各チームそれぞれ 2 テーマでディベートすることになる。一コマの授業で 2 テーマが実施できれば、三コマの授業時間を使うことになる。なお、テーマの肯定側か否定側かについては、テーマ発案チームは先に選ぶことはできない。

なお、一般の教育ディベートとは違って、この授業では、先にテーマさらにはその肯定側か否定側を決める。とは行っても、立論と反駁をするには、次の作業は必須となる。

テーマに関する話し合い、情報収集と論理の組み立て

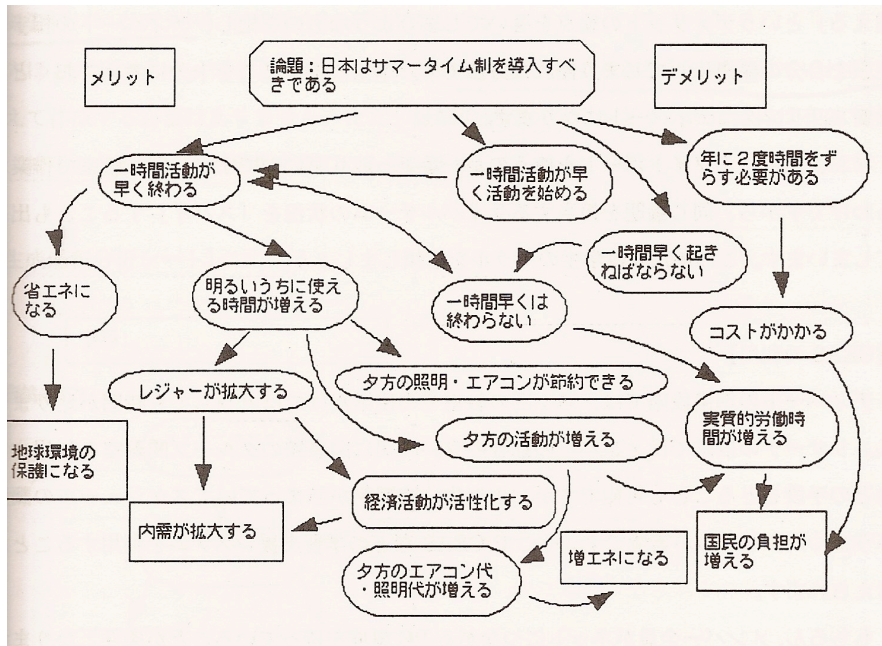
ファクトシートの作成（30 分）

ファクトシートとは、テーマのメリット（肯定側）とデメリット（否定側）と考えられる論点を思いつくままに書き出したもの。メリットとは、テーマから生じる良いこと、デメリットとは、テーマから生じる悪いこと、を意味する。各自、ファクトシートを作成して、持ち寄って一つのファクトシートを作成する。この際に、メンバーの発言を批判しないこと。議論の方向や順序を気にしないこと（ブレインストーミング）。チーム全体でも思いつかない時は図書館やインターネットを利用することも考えうる。

リンクマップの作成（40 分）

1. 中央にテーマを書いて、左にメリット、右にデメリット、不明の場合は中程におく。
2. そして、個々の論点を矢印で結びつける。論点をつなぐ論点があれば追加する。

3. 矢印の流れに無理がないか、考える。
4. そして、論理の流れをバックアップする証拠資料 (evidence) として何が必要かを考える。



情報収集と論理の組み立て

テーマの骨子となるシナリオを想定する。それを実証するための情報（新聞、雑誌、論文、ネットなど）を集める必要がある。情報は、その出典の信頼性が高いほど、有効となる。情報量とその質が求められる。

情報の評価の軸として、「問題の重大性」、「対策なしでは問題が解決しえないという現況」、「対策を講じれば問題が解決される蓋然性」が考えられる。情報のチーム内の共有が必要。整理した情報を電子媒体（USB メモリー）か、紙媒体で共有する。

複写した資料にマークするか、テキスト量が少ない場合には適宜整理しながら記述する。用紙は A4 に統一し、右肩に情報収集者、作成した日付、資料名を簡潔に入れる。

情報収集過程で、当初のシナリオの修正が必要となるのが普通で、フィードバックを繰り返すことでより優れたものが生まれる。

発言内容（の準備）

立論

主張＞論点←証拠，の流れを明確にする。この過程でフィードバックが重要。

立論シート→pp 作成

1. 肯定（否定）側論題の提示
2. その定義
3. 肯定側：具体的な実施プロセス（論題が実施案ならば）
4. 肯定側：メリット（論点）提示（第一に，第二に…） 否定側：デメリット（論点）提示（第一に，第二に…）
5. 肯定側：メリットの根拠 否定側：デメリットの根拠
6. 立論終了を確認。

反駁

反駁の目的は、（相手の議論をよく聞き）、相手の論拠を、資料を示して崩すこと。相手と異なる資料の場合と、同じ資料であっても相手の主張が成り立たないことを示す場合がある。

第2反駁では、ディベートの過程でもっとも重要と考えられる論点に絞って、こちらの論議が優れていることを示す。

反駁では立論で触れていない新たな議論を持ち出すことはできない。それゆえ、想定される反駁に応じうる内容を立論に含めておく必要がある。

質疑応答

質問者：相手の立論のこちらにとっての不明瞭な点を明確にする。

応答者：質問されたことだけに答える。答えられない時は「わかりません」。

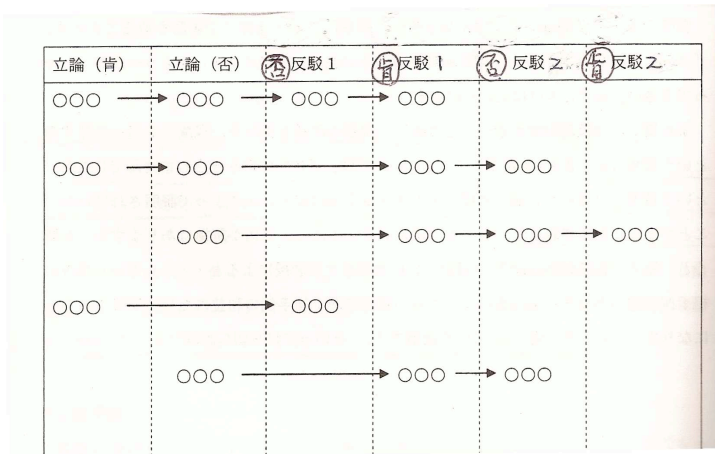
審判

自分自身の考えに近いかどうかではなく、議論された肯定側と否定側の道筋の説得性のみを判断する。

フローシート

次の図を参考にすること。個々の論点についてその議論の流れを追って評価する。個々の論点について肯定側か否定側の勝敗を判断する。各論点について、その軽重を判断し、審判員一人一人の持ち点を10点として、配分する。審判員全体の合計点で全体的な判定を決める。

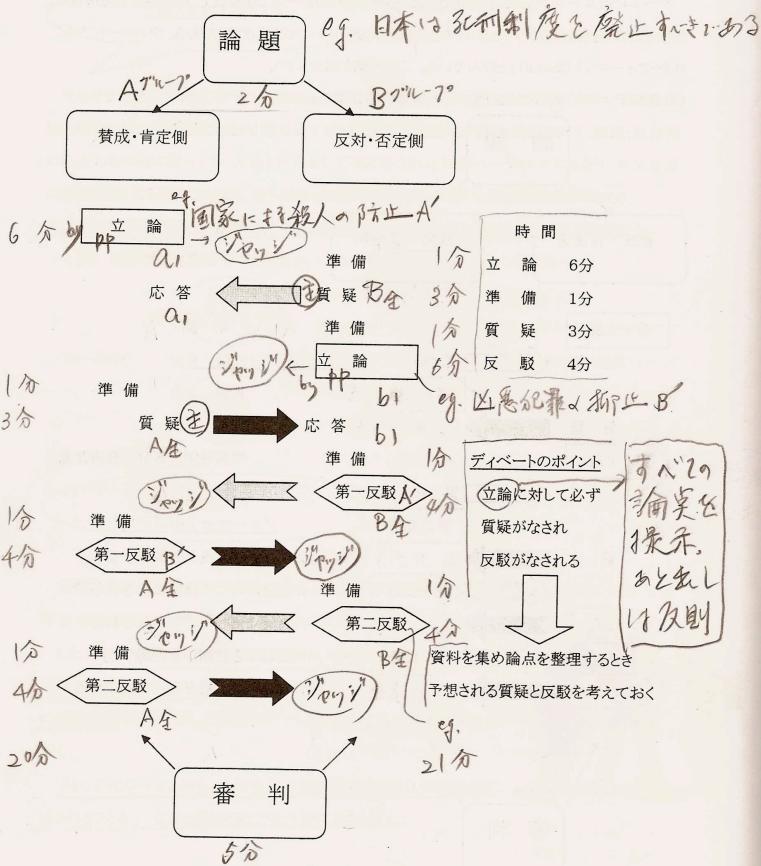
このフローシートの考えはディベートをしているメンバーにも有効で、お互いの論点での、議論の流れを把握し、反駁で対処することができる。



進行形式 format

参考：  特定非営利活動法人
全国教室ディベート連盟
 National Association of Debate in Education <http://nade.jp/>

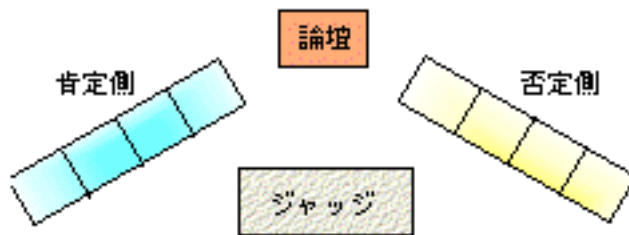
次の図は山本の知ナヴィ p.166 の図に木庭がメモを入れたもの。



知ナライ^{by}山本 + 筑田 高|機園ディベート

選手とジャッジの配置

質疑の時間をのぞき、すべてのスピーチは正面の論壇に立ち、ジャッジの方



を向いて行う。

以上